

2025年度

福山市一文字町外9か町地内

ステップ取付工事(7-3) 実施設計書

工
事
概
要

足掛け金物取付工

N=24箇所

特 記 仕 様 書

対象工事名 : ステップ取付工事（7-3）

本工事に関して設計図書にない事項については、「福山市上下水道局工事検査技術基準」及び「福山市下水道構造標準図」，「下水道土木工事共通仕様書(案)〔(公社)下水道協会〕」，「土木工事共通仕様書〔広島県〕」の最新版，その他関係規則に基づき，誠実に施工すること。

また，施工にあたり，必要な事項及び固有の条件等については，次の表により明示する。

なお，本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項，または，疑義が生じた場合は，その都度，速やかに監督員と協議を行なうこと。

項目	事 項	該 当		内 容				
① 計 画 準 備 関 係	関係機関への手続き	● あ り	○ な し	施工にあたり，日本国の関係諸法令， 諸官公庁の通達， 工事施工に関する協定事項等を遵守し， 諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない， 監督員に報告すること。				
	施工計画書等の提出	● あ り	○ な し	現場着手に先立ち，「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し， 監督員の確認を得ること。				
		● あ り	○ な し	現場着手に先立ち，「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し， 監督員の確認を得ること。				
	工程表の提出	● あ り	○ な し	契約約款第3条に基づき， 契約締結後14日以内に工程表を作成し， 提出すること。				
	協議	● あ り	○ な し	次のとおり， 関係機関及び地域住民等との協議を行い， 理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。				
				関係機関	事項	協議の内容		備考
				〇〇商店	駐車場出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態		
				関係機関	関係法令	関係法令に対する， 届出， 許可など		
				近隣住民	施工方法等	工事内容及び交通規制形態など		

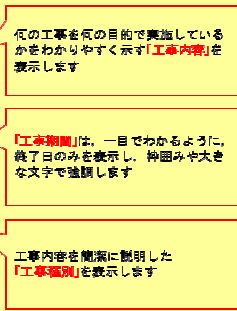
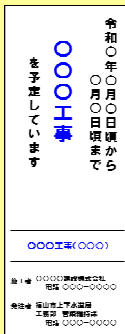
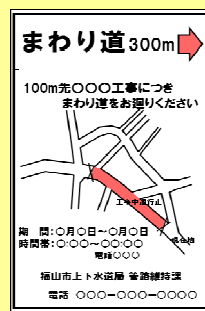
項目	事 項	該 当		内 容				
② 工 程 関 係	工期	● あ り	○ な し	工事期間は、準備日数、本工事に要する日数、跡片付け日数の合計としている。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。 また、工事期間のうち検査期間として14日間を見込んでいるため、工期終了日の14日前までに工事写真等の完成図書を提出すること。				
	制約条件	● あ り	○ な し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。				
				場所	制約の要因	制約の内容		備考
				河川	用水	用水として使用しているため、水位調整に協議が必要		くわい等
関連する別途工事	● あ り	○ な し	工事名：新涯7号雨水幹線修繕工事 工 期：2025/10/20～2026/3/31 備 考：上記工事でポンプ場運転にて水位下げるため、日程調整を行うこと。					
③ 周 辺 環 境 保 全 関 係	事業損失防止	● あ り	○ な し	施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市建設工事損失補償事務処理要綱」によるものとする。 なお、事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。				
	濁水・湧水の処理	● あ り	○ な し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、適切に処理し排水すること。				
	環境対策	● あ り	○ な し	施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めること。 また、資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意するとともに、施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。				

項目	事 項	該 当		内 容
④ 安全対策関係	交通誘導警備員	● あり	○ なし	交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。 交通誘導警備員 A とは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。 交通誘導警備員 B とは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員 A 以外の交通の誘導に従事するものをいう。 警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員 A を誘導日あたり1名以上配置すること。
	作業時間内の埋戻復旧	○ あり	● なし	作業時間外は交通開放するため、本工事の掘削・埋戻は、即日を実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。
	安全対策	● あり	○ なし	片側交互通行及び通行止め等の交通管制を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。 また、路面の補修及び転落防止対策に努めるなど交通及び保安上の十分な措置を講じること。 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに監督員に「事故等速報」等により報告すること。
	特別な交通安全対策が必要	○ あり	● なし	施設等：
	労働災害防止	● あり	○ なし	作業中は、気象情報に十分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合は、ただちに対処できるような対策を講じておくこと。 マンホール、管渠などに出入りし、またはこれらの内部で作業を行う場合は、労働省令で定める酸素欠乏危険作業主任者の指示に従い、酸素欠乏空気、有害ガスなどの有無を、作業開始前と作業中に常時調査し、換気等事故防止に必要な措置をこじるとともに、呼吸用保護具等を常備すること。 なお、酸素及び硫化水素の測定結果は、記録、保管し、監督員が指示を求めた場合は、その指示に従うこと。

項目	事 項	該 当		内 容
⑤ 埋 戻 材 料	処理土	☐ あ り	☒ な し	埋戻土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。 ・処理土の使用が何らかの事情により困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。 ・使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験容量（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の掲示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
	購入土（新材料）	☐ あ り	☒ な し	新材料を使用する場合は、採取場所、採石（採取）業者、試験業者、試験日を明記した試験結果報告書を提出するものとする。埋戻土は、新材料の購入を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。 ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の掲示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。積算にあたっては、購入土に要する費用が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
	再生クラッシャーラン	☐ あ り	☒ な し	埋戻土は、再生クラッシャーラン（購入）を使用すること。
⑥ 建 設 副 産 物 関 係	建設発生土	☐ あ り	☒ な し	建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラントへ搬出して再資源化を行い、計量伝票を監督員に提出すること。 また、計量伝票の提出が困難な場合は、受入伝票と積載土量が確認可能な写真を提出すること。 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。
	特定建設資材の廃棄物	☐ あ り	☒ な し	特定建設資材の廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し適正に処理しなければならない。 また、伝票等を監督員に提出するとともに、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。
	建設副産物 情報交換システム	☒ あ り	☐ な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事のため、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの入力を行うこと。 また、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」について、当該システムにより作成を行い、提出すること。工事完了時には、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を提出すること。
	広島県土砂の適正処理 に関する条例	☐ あ り	☒ な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。

項目	事 項	該 当		内 容			
⑦ 施 工	試験掘り	○ あ り	● な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり試験掘りを行うこと。			
				場所	確認物件	方法	備考
	地下埋設物	○ あ り	● な し	工事着手前に地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。			
	硬質塩化ビニル管	○ あ り	● な し	下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－1〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。			
	登録リサイクル製品	○ あ り	● な し	施工に際して必要となる資材等について、「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき登録された製品（登録リサイクル製品）を使用することが可能である場合は、その使用に努めること。 また、登録リサイクル製品を使用した場合は、登録番号と使用量を監督員に報告すること。 次表に該当するものは、登録リサイクル製品を使用するものとする。			
				材料名	種別		備考
				再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アスファルト混合物（最大粒径 20mm）		
					再生密粒度アスファルト混合物（最大粒径 20mm）		
					再生密粒度アスファルト混合物（最大粒径 13mm）		
	再生細粒度アスファルト混合物（最大粒径 13mm）						
	土留	○ あ り	● な し	土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、請負者の責任により速やかに対処すること。 なお、施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。			
埋戻	○ あ り	● な し	埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、請負者の責任により速やかに対処すること。				
水位調整	○ あ り	● な し	工事箇所における水位調整については、ポンプ場監守人と協議して実施すること。 運転管理費用として 日分を見込んでいる。				
水替	○ あ り	● な し	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。				

項目	事 項	該 当		内 容
⑧ そ の 他	熱中症対策	○ あ り	● な し	本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。 1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間14日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。 2. 真夏日とは、日最高気温が28度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。 3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。 なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。 4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。 5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。 6. 積算方法は次のとおりとする。 （1）補正方法 ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。 イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期 ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2 （2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。 7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。 8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。
	品質管理	○ あ り	● な し	定証（認定証、混合物総括表）の写しを監督員に提出するものとし、アスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明書、試験成績表の提出及び試験練りは省略できるものとする。未認定混合所のアスファルト混合物については、試験練りの実施報告書を提出すること。また、プラントに関する品質管理結果を監督員に報告すること。（本舗装は舗設日毎、仮舗装は最初の施工の際1回）
	週休2日適用工事	○ あ り	● な し	本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

項目	事 項	該 当	内 容
⑧ その他	現道工事における 保安施設	● あり ○ な し	1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」, 「工事説明看板」, 「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。 2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知を図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。 3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知を図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。 4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知を図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。 5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。 6. 「工事表示板」, 「工事情報看板」, 「工事説明看板」, 「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとする。 新しい路上工事看板（工事中表示板）  （工事情報看板）  （工事説明看板）  （まわり道案内表示板） 

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.10.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	14 河川維持工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X2000
河川維持					Y1B01 レベル1
	1	式			
付属物設置工					Y1B0106 レベル2
	1	式			
付属物設置工					Y1B010605 レベル3
	1	式			
足掛け金物 【足掛け金物】					Y1B01060501 レベル4
		本			
足掛金物取付工					V000000100 00
	158	本			単第0 -0001 表
足掛金物 径φ19mm,足掛幅W300mm,奥行H220,SUS 後付けタイプ(樹脂固着式),SH30-220相当品					TH003196 00
	158	本			
エポキシ系接着剤 ワンセット900g					F000000100 00
	29	個			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満					SPK25040114 00
	316	孔			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

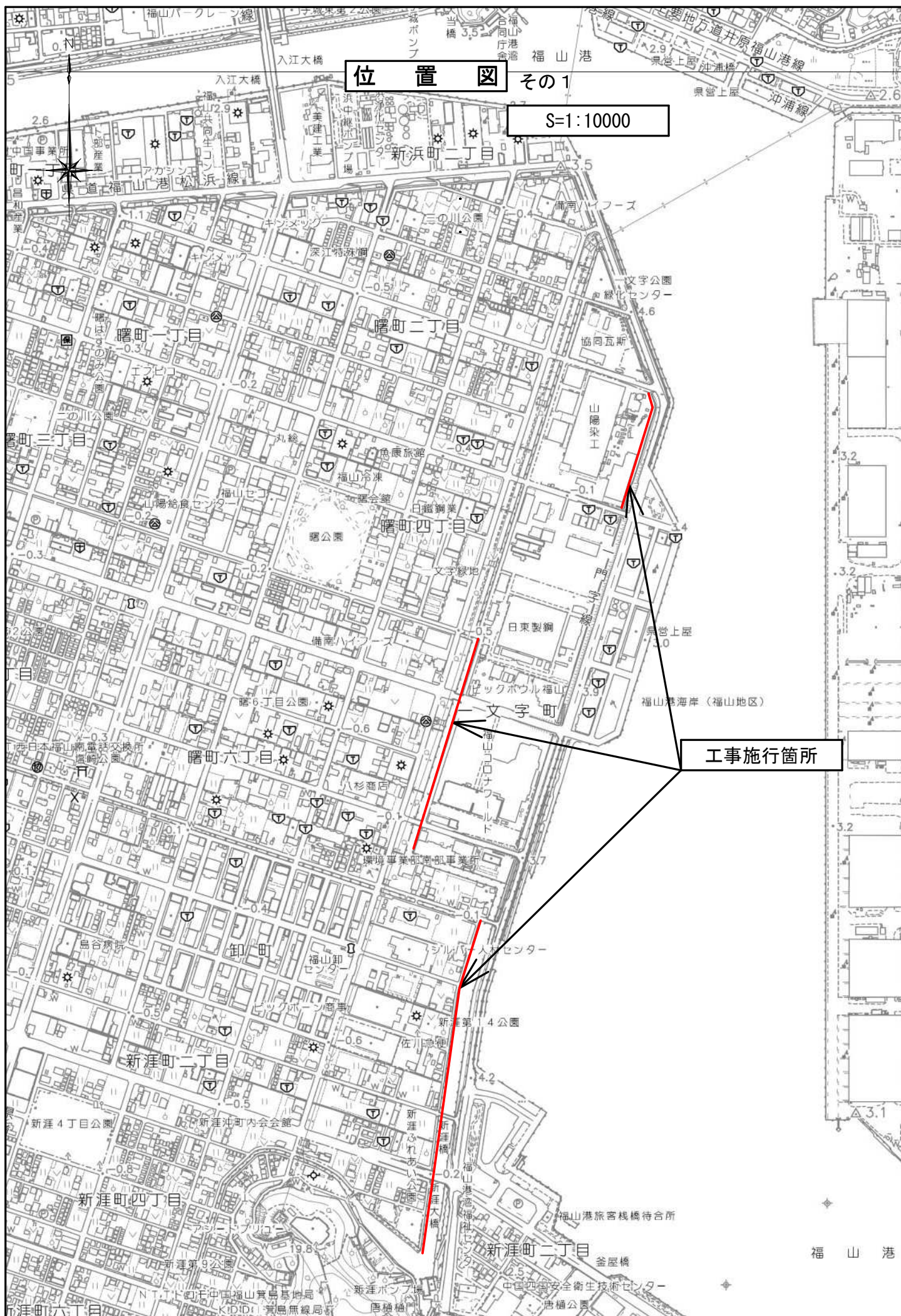
頁0 -0003

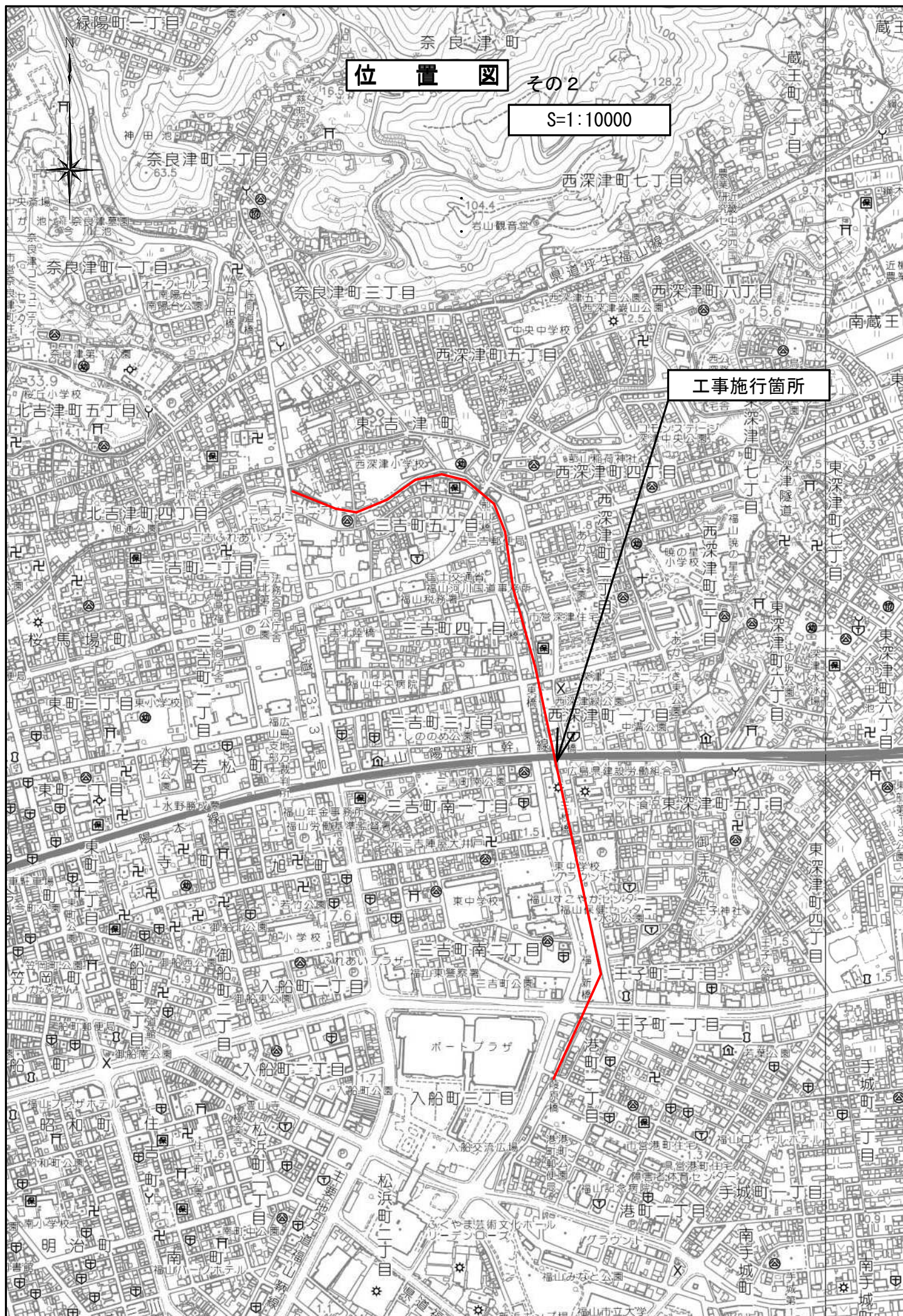
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1B0112 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1B011221 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1B01122101レベル4
		人			
交通誘導警備員B 1名配置					R0369 00
	11	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

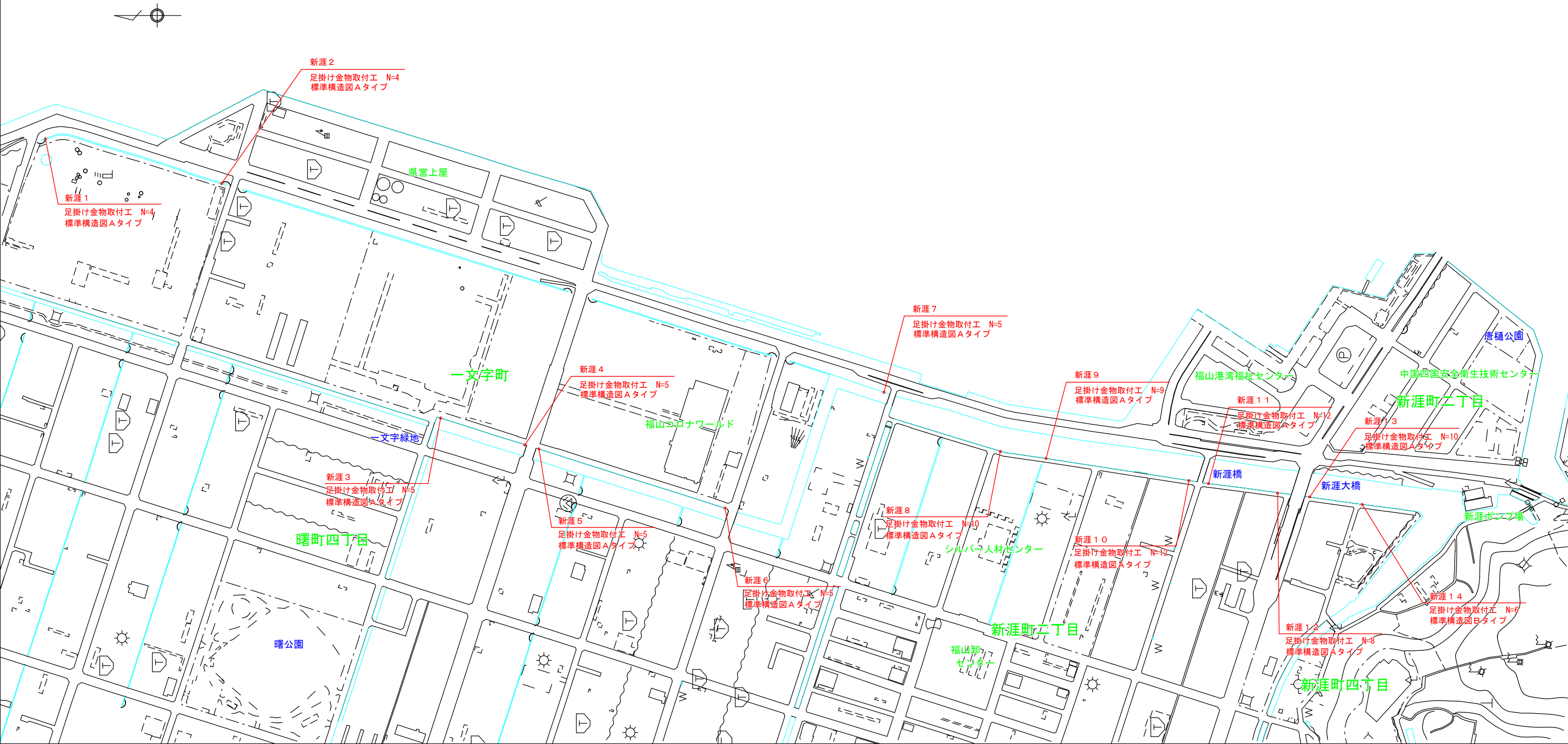




図面番号	1 / 3	縮 尺	図示
工事名	ステップ取付工事（7-3）		
種 別	平面図		
工事箇所	福山市一文字町外 9 か町地内		
設計年月	2025 年 10 月		
福山市上下水道局			

平面図 1:1500

施工箇所 14か所 (N=100)



図面番号	2 / 3	縮 尺	図示
工事名	ステップ取付工事（7-3）		
種 別	平面図、標準構造図		
工事箇所	福山市一文字町外9か町地内		
設計年月	2025年 10月		
福山市上下水道局			

※この図面は縮小しています。
(原図サイズA1)

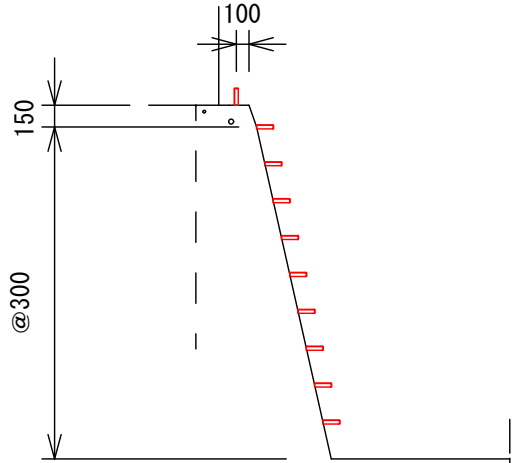
平面図 1:1500



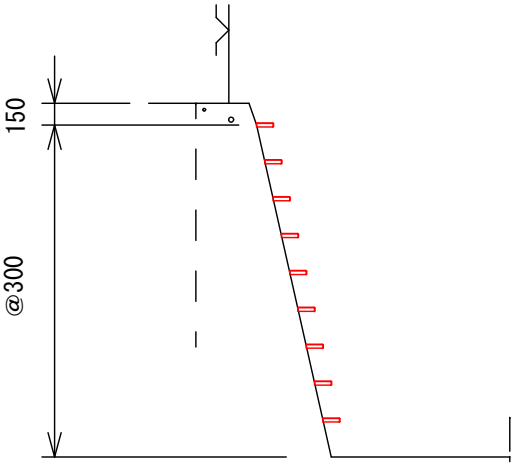
施工箇所 7か所 (N=39)

標準構造図

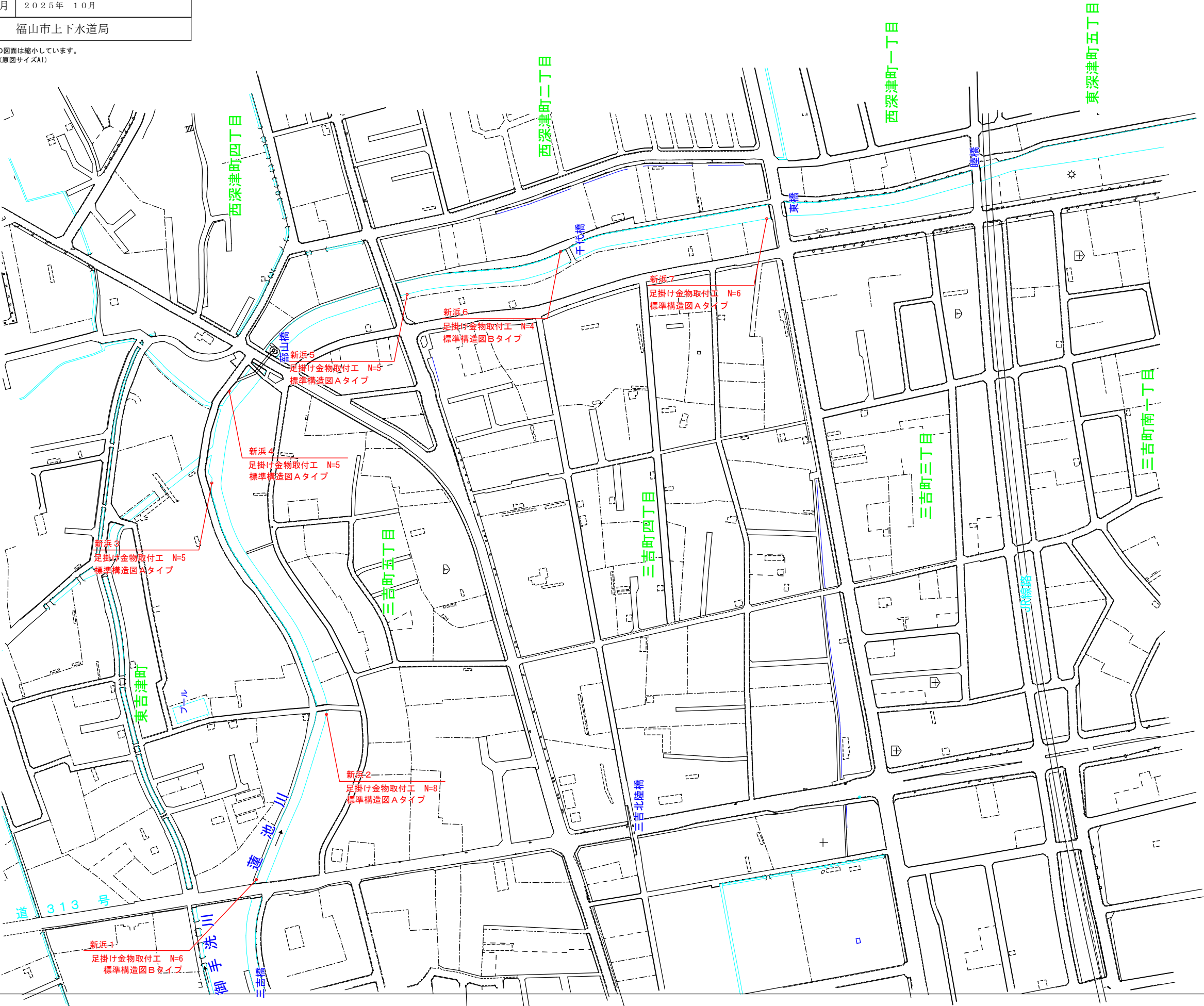
Aタイプ



Bタイプ



※足掛け金物の間隔は300mm、最下段は水路底より300mm程度に
設置することを標準とするが、現場状況等から設置
できない場合は協議の上、変更することができる。

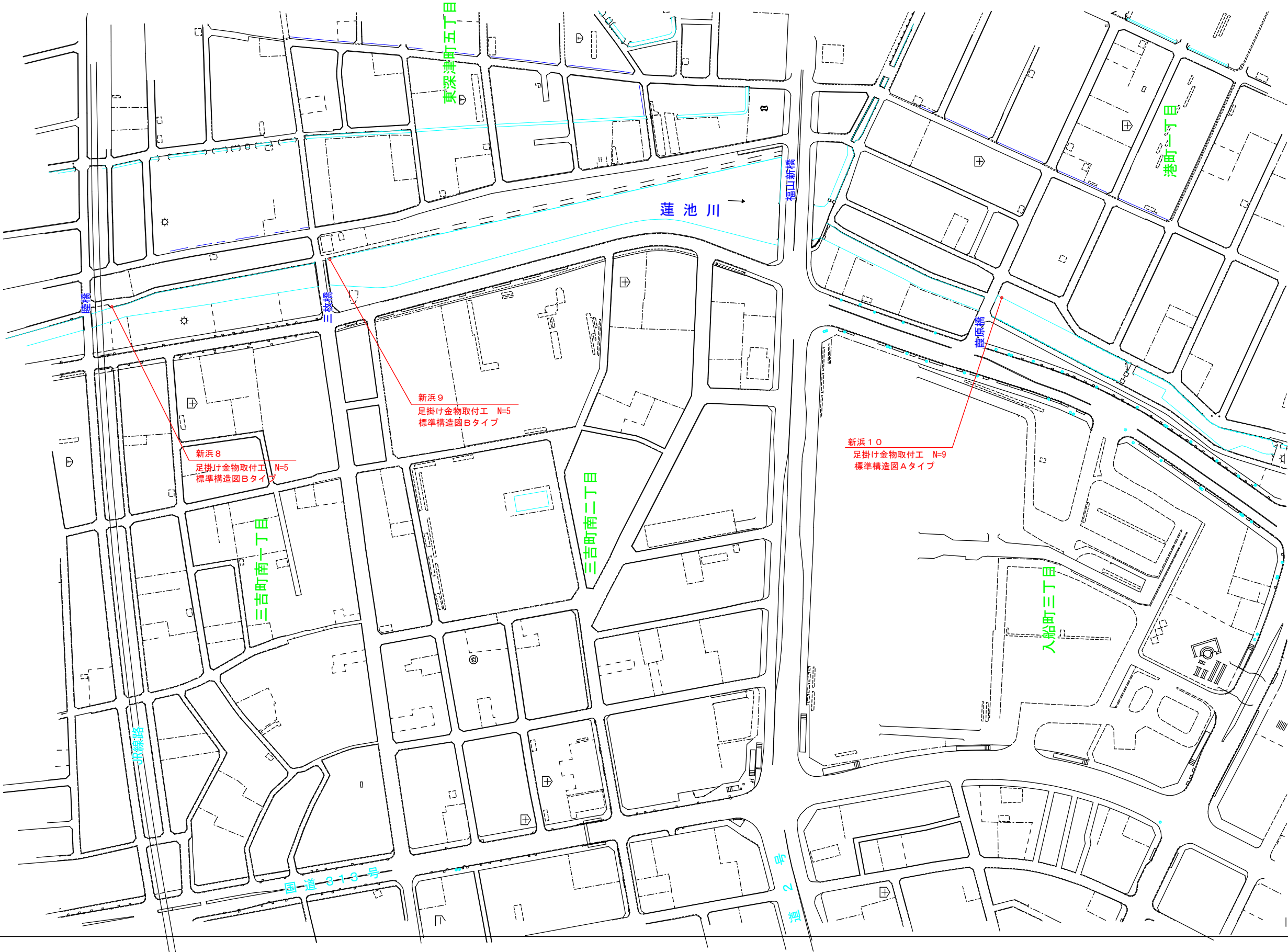
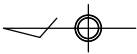


図面番号	3 / 3	縮 尺	図示
工事名	ステップ取付工事（7-3）		
種 別	平面図		
工事箇所	福山市一文字町外 9 か町地内		
設計年月	2025 年 10 月		
福山市上下水道局			

※この図面は縮小しています。
(原図サイズA1)

平面図 1:1500

施工箇所 3か所 (N=19)



以下参考図書

施工単価表

頁0 -0001

足掛金物取付工

V000000100

單第0 -0001 表

1

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0002

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0002 表

1

孔 当り

削孔深さ30mm以上200mm未満

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53% 材料構成比: 2.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0003

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0002 表

1

孔 当り

削孔深さ30mm以上200mm未満

機械構成比: 2.15%

2.15%

勞務構成比：

95.53%

材料構成比:

2.32%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価：

684.28000

[illegible]